

2026 年度 シラバス

科目名	論理学	単位数	1	時間数	30	講師	外部講師
目標	対象を理解し、行動するための基礎として、論証の成り立ちや思考の形式について学び、自己の行動や思考を他者に可視化できるように説明し、記述する論理的思考を養う。						
DP との関連	<p>&lt;II.良い人間関係を形成する力&gt;</p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p>&lt;IV.専門職業人として成長・創造・探求する力&gt;</p> <p>豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文字・音声両面での論理的言語表現の訓練</li> <li>2. 3分間スピーチ</li> <li>3. 日本人の言語表現（省略・間接表現）</li> <li>4. 論文の不適切な表現について</li> <li>5. 論評文作成・提出</li> <li>6. ロールプレイ</li> <li>7. 論説文作成・提出</li> </ol>						
授業の進め方	講義 演習						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	自作プリント						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	英語 1	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	外部講師
目標	グローバルに思考する姿勢を養うために医療・看護の場における英語表現能力を養う。						
DP との関連	<p>&lt;II.良い人間関係を形成する力&gt; コミュニケーション能力を身につけ他者と協同し、互いに成長し合える関係が築ける</p> <p>&lt;IV.専門職業人として成長・創造・探求する力&gt; 豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Can you please speak more slowly?</li> <li>2. Where are you from?</li> <li>3. Where are you from?</li> <li>4. Could you tell me your address, please?</li> <li>5. Could you tell me your address, please?</li> <li>6. What department do you want to visit?</li> <li>7. What department do you want to visit?</li> <li>8. Where is the X-ray department?</li> <li>9. Where is the X-ray department?</li> <li>10. What are your symptoms?</li> <li>11. What are your symptoms?</li> <li>12. Where does it hurt?</li> <li>13. Where does it hurt?</li> <li>14. Have you ever had any serious illnesses?</li> <li>15. Have you ever had any serious illnesses?</li> </ol>						
授業の進め方	講義 演習						
評価方法	総合評価 100 点満点 (筆記試験 85 点 単語テスト 15 点)						
テキスト 参考文献	クリスティーンのやさしい看護英会話 (医学書院)						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	英語 2	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	外部講師
目標	看護の国際化に備えるために、医療・看護の場における英会話能力の向上をはかる。						
DP との関連	<p>&lt; II.良い人間関係を形成する力&gt;</p> <p>コミュニケーション能力を身につけ他者と協同し、互いに成長し合える関係が築ける</p> <p>&lt; IV.専門職業人として成長・創造・探求する力&gt;</p> <p>豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Take one tablet, four times a day.</li> <li>2. Take one tablet, four times a day.</li> <li>3. Let me make an appointment for your test.</li> <li>4. Let me make an appointment for your test.</li> <li>5. Your surgery will be tomorrow at 9 a.m.</li> <li>6. Your surgery will be tomorrow at 9 a.m.</li> <li>7. How are you feeling today?</li> <li>8. How are you feeling today?</li> </ol>						
授業の進め方	講義 演習						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	クリスティーンのやさしい看護英会話 (医学書院)						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	健康とスポーツ	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	外部講師
目標	<p>健康の保持増進を図るとともに、運動療法の基礎としての具体的な運動方法やレクリエーションの方法について学ぶ。</p> <p>健康維持のためのスポーツの効果について、スポーツが心身に及ぼす影響について学び、看護実践における運動（活動）の効果的活用につなげる。</p>						
DP との関連	<p>&lt;II.良い人間関係を形成する力&gt;</p> <p>心身の状態をセルフマネジメントできる</p> <p>&lt;IV.専門職業人として成長・創造・探求する力&gt;</p> <p>豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康維持における姿勢の重要性</li> <li>2. 骨と筋肉についての知識を深める</li> <li>3. 筋力と姿勢について及び運動とトレーニングについて</li> <li>4. トレーニングの必要性を知る</li> <li>5. 症状別トレーニングについて</li> <li>6. 症状別トレーニングのグループ発表と歩行について</li> <li>7. 歩行の指導とトレーニング指導</li> <li>8. まとめ</li> </ol>						
授業の進め方	講義 実技						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 50 点 実技テスト 50 点）						
テキスト 参考文献	自作プリント						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	心理学	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	外部講師
目標	人間の心理と行動を理解するための基礎的な知識と考え方を学習し、人間についての理解を深める。						
DPとの関連	< I. 済生の力 > 自己・他者・ものを大切にできる豊かな人間性を身につけることができる < II. 良い人間関係を形成する力 > 心身の状態をセルフマネジメントできる < IV. 専門職業人として成長・創造・探求する力 > 豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる						
授業計画	1. 心理学とはどのような学問か 2. 知覚と感覚 3. 原因と欲求 4. 経験に学ぶ - 学習と記憶 - 5. 脳神経とホルモン						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点満点						
テキスト 参考文献	系統看護学講座 基礎分野 心理学（医学書院） 必要に応じて紹介する						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	人間関係論 1	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	外部講師
目標	“社会的動物”としての人間についての理解を深めるとともに、発達および社会心理学やコミュニケーション学などの知見に基づき、人間関係の諸相についても理解を深める。						
DP との関連	<p>&lt; I. 済生の力 &gt;</p> <p>生命と人生を尊び、他者への思いやりや寄り添う気持ちをもつことができる</p> <p>自己・他者・ものを大切にできる豊かな人間性を身につけることができる</p> <p>&lt; II. 良い人間関係を形成する力 &gt;</p> <p>コミュニケーション能力を身につけ他者と協同し、互いに成長し合える関係が築ける</p> <p>&lt; IV. 専門職業人として成長・創造・探求する力 &gt;</p> <p>豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関係的存在としての人間</li> <li>2. 社会化としての人間発達と個性化</li> <li>3. 自己と他者</li> <li>4. コミュニケーション</li> <li>5. 集団と社会心理</li> <li>6. 家族の人間関係</li> </ol>						
授業の進め方	講義 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点 (筆記試験 80 点 レポート等 20 点)						
テキスト 参考文献	必要に応じて紹介する						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	人間関係論 2	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	外部講師
目標	患者と心が通うコミュニケーションの土台となるよう、カウンセリングの基本的とらえ方を理解する。						
DP との関連	<p>&lt; I. 済生の力 &gt;</p> <p>生命と人生を尊び、他者への思いやりや寄り添う気持ちをもつことができる</p> <p>自己・他者・ものを大切にできる豊かな人間性を身につけることができる</p> <p>&lt; IV. 専門職業人として成長・創造・探求する力 &gt;</p> <p>豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カウンセリング</li> <li>2. カウンセリングの代表的理論</li> <li>3. カウンセリングのおおまかな流れ</li> <li>4. カウンセリングの技法</li> <li>5. 看護場面における患者とのかかわり方</li> </ol>						
授業の進め方	講義 演習						
評価方法	総合評価 100 点満点 (筆記試験 80 点 レポート等 20 点)						
テキスト 参考文献	必要に応じて紹介する						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	文化人類学	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	外部講師
目標	日本や世界のさまざまな文化について知ること、異なる習慣や価値観をもつ人びとと向き合うために必要な力を身につける。						
DP との関連	<p>&lt; I. 済生の力 &gt;</p> <p>生命と人生を尊び、他者への思いやりや寄り添う気持ちをもつことができる</p> <p>自己・他者・ものを大切にできる豊かな人間性を身につけることができる</p> <p>&lt; II. 良い人間関係を形成する力 &gt;</p> <p>異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p>&lt; IV. 専門職業人として成長・創造・探求する力 &gt;</p> <p>豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる</p> <p>国内外の社会の変化に関心を持ち、対応しようとする姿勢を持つことができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 異文化を理解すること</li> <li>2. 意味と象徴</li> <li>3. 祭とはなにか</li> <li>4. 儀礼とライフサイクル</li> <li>5. 家族と社会</li> <li>6. 死の文化</li> <li>7. 日本の神 ・日本人の宗教観について概観する。</li> <li>8. 霊と向き合う文化</li> <li>9. 現代人と宗教</li> <li>10. 価値観の違いを体験する</li> <li>11. さまざまな食文化</li> <li>12. 異界を想像する</li> <li>13. 語りの力</li> <li>14. 医療と文化</li> <li>15. 文化とは何か？</li> </ol>						
授業の進め方	講義 演習						
評価方法	総合評価 100 点満点 (レポート 60 点 小レポート・討議などでの積極性など 40 点)						
テキスト 参考文献	参考文献：系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 (医学書院)						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	社会学	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	外部講師
目標	「集団」「家族」「地域」などの社会の仕組みに関する基本的な概念を学び、人間と社会の関わりを理解する。						
DPとの関連	<p>&lt;II.良い人間関係を形成する力&gt;</p> <p>異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p>&lt;IV.専門職業人として成長・創造・探求する力&gt;</p> <p>豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる</p> <p>国内外の社会の変化に関心を持ち、対応しようとする姿勢を持つことができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会学の位置づけ</li> <li>2. 医療と社会</li> <li>3. 社会学史</li> <li>4. 集団と自我</li> <li>5. 家族</li> <li>6. 地域</li> <li>7. 生活</li> <li>8. ジェンダー</li> <li>9. グローバリゼーション</li> </ol>						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100点						
テキスト 参考文献	系統看護学講座 基礎分野 社会学（医学書院） 適宜提示						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	倫理学	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	外部講師
目標	生命倫理（学）を主軸として、自己の考えを言語化・明示化しつつ他者の意見に傾聴できる力を培う。						
DP との関連	<p>&lt; I. 済生の力 &gt;</p> <p>生命と人生を尊び、他者への思いやりや寄り添う気持ちをもつことができる</p> <p>&lt; II. 良い人間関係を形成する力 &gt;</p> <p>異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p>&lt; IV. 専門職業人として成長・創造・探求する力 &gt;</p> <p>豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる</p> <p>専門職業人としての責務を自覚し、職業倫理に則って行動できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命倫理（概説）</li> <li>2. 再生医療・細胞治療・創薬</li> <li>3. 不可逆的昏睡／脳死</li> <li>4. 臓器移植／臓器移植法</li> <li>5. 生体臓器移植及び尊厳死</li> <li>6. 尊厳死／安楽死</li> <li>7. 安楽死の経緯・要件</li> <li>8. ターミナルケア</li> <li>9. 認知症</li> <li>10. 生殖補助医療</li> <li>11. 出生前診断／難病</li> <li>12. エンハンスメント</li> <li>13. がんゲノム医療</li> </ol>						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	<p>自作プリント</p> <p>参考文献：G S u p p l e 事例でまなぶ ケアの倫理（メディカ出版）</p>						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	解剖生理学 1	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	学校長 済生会職員
目標	解剖生理学のための基本的知識、体液の調整と尿の生成、身体機能の防御と適応、生殖・発生と老化のしくみ、血液の循環とその調整を理解する。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人体の構造と機能を学ぶために</li> <li>2. 解剖生理学のための基礎知識</li> <li>3. 体液の調節と尿の生成</li> <li>4. 生殖・発生と老化のしくみ</li> <li>5. 血液の循環とその調節             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 循環器系の構成</li> <li>2) 心臓の構造</li> <li>3) 心臓の拍出機能</li> <li>4) 末梢循環系の構造</li> <li>5) 血液の循環の調整</li> <li>6) リンパとリンパ管</li> </ol> </li> </ol>						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 (医学書院)						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	解剖生理学2	単位数	1	時間数	15	講師	済生会職員
目標	栄養の消化と吸収、呼吸のはたらきを理解する。						
DPとの関連	<Ⅲ.看護を実践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養の消化と吸収 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 口・咽頭・食道の構造と機能</li> <li>2) 腹部消化管の構造と機能</li> <li>3) 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能</li> <li>4) 腹膜</li> </ol> </li> <li>2. 呼吸のはたらき <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 呼吸器の構造</li> <li>2) ガス交換とガスの運搬</li> <li>3) 肺の循環と血流</li> </ol> </li> </ol>						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100点						
テキスト 参考文献	人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 (医学書院)						

\*進行状況により、授業内容を変更する場合があります

2026 年度 シラバス

科目名	解剖生理学 3	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	済生会職員
目標	身体の支持と運動、生体の防御機構を理解する。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	1. 身体の支持と運動 1) 骨格とはどのようなものか ・人体の骨格 ・骨の形態と構造 ・骨の組織と組成 ・骨の発生と成長 ・骨の生理的な機能 2) 骨の連結 3) 骨格筋 4) 体幹の骨格と筋 5) 上肢の骨格と筋 6) 下肢の骨格と筋 7) 頭頸部の骨格と筋 8) 筋の収縮 2. 身体機能の防御と適応 1) 生体の防御機能						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 (医学書院) 成人看護学 [10] 運動器 (医学書院)						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	解剖生理学 4	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	済生会職員
目標	血液のはたらき、内臓機能の調節、情報の受容と処理を理解する。						
DP との関連	<p>&lt;Ⅲ.看護を实践する力&gt;</p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 血液のはたらき             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 血液の組成と機能</li> <li>2) 赤血球</li> <li>3) 白血球</li> <li>4) 血小板</li> <li>5) 血漿タンパク質と赤血球沈降速度</li> <li>6) 血液の凝固と繊維素溶解</li> <li>7) 血液型</li> </ol> </li> <li>2. 内臓機能の調節             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自律神経による調節</li> <li>2) 内分泌系による調節</li> <li>3) 全身の内分泌腺と内分泌細胞</li> <li>4) ホルモン分泌の調節</li> <li>5) ホルモンによる調節の実際</li> </ol> </li> <li>3. 情報の受容と処理             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 神経系の構造と機能</li> <li>2) 脊髄と脳</li> <li>3) 脊髄神経と脳神経</li> <li>4) 運動機能と下行伝導路</li> <li>5) 感覚機能</li> <li>6) 体性感覚と上行伝導路</li> <li>7) 眼の構造と視覚</li> <li>8) 耳の構造と聴覚・平衡覚</li> <li>9) 味覚と嗅覚</li> <li>10) 痛み（疼痛）</li> <li>11) 脳の統合機能</li> </ol> </li> </ol>						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点満点						
テキスト 参考文献	人体の構造と機能 [1] 解剖生理学（医学書院）						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	生化学	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	済生会職員
目標	人体を構成する化合物について学び、人間の生命現象を生化学的な反応として捉える。 生化学的検査の意義を理解する。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生化学を学ぶための基礎知識</li> <li>2. 代謝の基礎と酵素・補酵素</li> <li>3. 糖質の構造と機能</li> <li>4. 糖質代謝</li> <li>5. 脂質の構造と機能</li> <li>6. 脂質代謝</li> <li>7. タンパク質の構造と機能</li> <li>8. タンパク質代謝</li> <li>9. ポルフィリン代謝と異物代謝</li> <li>10. 遺伝子と核酸</li> <li>11. 遺伝子の複製・修復・組換え</li> <li>12. 転写</li> <li>13. 翻訳と翻訳後修飾</li> <li>14. シグナル伝達</li> <li>15. がん</li> </ol>						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	人体の構造と機能 [2] 生化学 (医学書院)						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	病態学 1 病理総論・呼吸器系	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	済生会職員
目標	病理学の基礎を学習すると共に、看護職の病理診断へのかかわりを理解する。 呼吸器系の各種病変について、その本体と原因およびそれらの病変が各臓器や組織に発症したときの疾病の成り立ちと治療を理解する。						
DP との関連	<III.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<病理総論> 1. 病理学で学ぶこと 1. 細胞・組織の損傷と修復、炎症 2. 免疫、移植と再生医療 3. 感染症 4. 循環障害 5. 代謝障害 6. 老化と死 7. 先天異常と遺伝性疾患 8. 腫瘍 9. 生活習慣と環境因子による生態の障害 10. 病理検査  <呼吸器系> 11. 呼吸器の構造と機能 12. 症状とその病態生理 13. 検査と治療・処置 14. 疾患の理解						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	疾病のなりたちと回復の促進 [1] 病理学 (医学書院) 成人看護学 [2] 呼吸器 (医学書院)						

\*進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	病態学2 循環器系・ 内分泌、代謝系	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	済生会職員
目標	循環器系、内分泌、代謝系の各種病変について、その本体と原因およびそれらの病変が各臓器や組織に発症したときの疾病の成り立ちと治療を理解する。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<循環器系> 1. 循環器の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療 4. 疾患の理解  <内分泌・代謝系> 1. 内分泌・代謝器官の構造と機能 2. 検査と治療 3. 疾患の理解						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	成人看護学 [3] 循環器 (医学書院) 成人看護学 [6] 内分泌・代謝 (医学書院)						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	病態学3 消化器系・ 造血、免疫系・自己免疫系	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	済生会職員
目標	消化器系、造血・免疫系の各種病変について、その本体と原因およびそれらの病変が各臓器や組織に発症したときの疾病の成り立ちと治療を理解する。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を実践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<消化器系> 1. 消化器の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療 4. 疾患の理解  <造血・免疫系> 1. 血液の機能と造血のしくみ 2. 症状・身体所見と病態生理 3. 検査と治療 4. 疾患の理解 5. 自己免疫疾患とその機序						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	成人看護学 [5] 消化器 (医学書院) 成人看護学 [4] 血液・造血器 成人看護学 [11] アレルギー 膠原病 感染症 (医学書院)						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	病態学4 脳神経系 1・ 脳神経系 2・眼科系	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	済生会職員
目標	脳神経系、眼科系の各種病変について、その本体と原因およびそれらの病変が各臓器や組織に発症したときの疾病の成り立ちと治療を理解する。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を実践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<脳神経系 1 > 1. 脳神経系の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査・診断と治療・処置（外科的治療法） 4. 疾患の理解  <脳神経系 2 > 1. 脳神経系の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査・診断と治療・処置（外科的治療法） 4. 疾患の理解  <眼科系 > 1. 眼の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療・処置 4. 疾患の理解						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	成人看護学 [7] 脳・神経（医学書院） 成人看護学 [13] 眼（医学書院）						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	病態学5 運動器系・運動療法・ 女性生殖器系	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	済生会職員
目標	運動器系、女性生殖器系の各種病変について、その本体と原因およびそれらの病変が各臓器や組織に発症したときの疾病の成り立ちと治療を理解する。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<運動器系> 1. 運動器の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 診断・検査と治療・処置 4. 疾患の理解  <運動療法> 1. リハビリテーション概論 2. 呼吸リハビリテーションでの体位排痰  <女性生殖器系> 1. 女性生殖器の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 診察・検査と治療・処置 4. 疾患の理解						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	成人看護学 [10] 運動器 (医学書院) 成人看護学 [9] 女性生殖器 (医学書院)						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	病態学6 腎、泌尿器系・皮膚科系・耳鼻咽喉科系	単位数	1	時間数	30	講師	済生会職員
目標	腎、泌尿器系、皮膚科系、耳鼻咽喉科系の各種病変について、その本体と原因およびそれらの病変が各臓器や組織に発症したときの疾病の成り立ちと治療を理解する。						
DPとの関連	<p>&lt;Ⅲ.看護を实践する力&gt;</p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p>						
授業計画	<p>&lt;腎・泌尿器系&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 腎・泌尿器の構造と機能</li> <li>2. 症状とその病態生理</li> <li>3. 検査と治療・処置・排尿管理・透析療法・腎移植</li> <li>4. 疾患の理解</li> </ol> <p>&lt;皮膚科系&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 皮膚の構造と機能</li> <li>2. 症状とその病態生理</li> <li>3. 検査と治療・処置</li> <li>4. 疾患の理解</li> </ol> <p>&lt;耳鼻咽喉科系&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 耳鼻咽喉および頸部の構造と機能</li> <li>2. 症状とその病態生理</li> <li>3. 検査と治療</li> <li>4. 疾患の理解</li> </ol>						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100点						
テキスト参考文献	<p>成人看護学 [8] 腎・泌尿器 (医学書院)</p> <p>成人看護学 [12] 皮膚 (医学書院)</p> <p>成人看護学 [14] 耳鼻咽喉 (医学書院)</p>						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	病態学8手術療法・麻酔・救急	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	済生会職員
目標	外科的治療と周手術期の看護の必要性を理解する。 麻酔法と救急治療を理解する。						
DPとの関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外科医療の基礎</li> <li>2. 外科治療を要する疾患・症状</li> <li>3. 外科治療の実際</li> <li>4. 外科治療を支える分野</li> <li>5. 救急看護の基礎</li> </ol>						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100点						
テキスト 参考文献	臨床外科看護総論（医学書院） 臨床外科看護各論（医学書院）						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	微生物学	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	外部講師
目標	感染症を引き起こす微生物についてその生物学的特徴、さらに個々の病原体の感染様式、病原性、診断から治療について系統的に学び、感染症とその宿主防衛機構を理解する。						
DP との関連	<p>&lt; II.良い人間関係を形成する力&gt;</p> <p>心身の状態をセルフマネジメントできる</p> <p>&lt; III.看護を実践する力&gt;</p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p>						
授業計画	<p>1. 微生物学の基礎</p> <p>1) 微生物と微生物学</p> <p>2) 細菌の性質</p> <p>3) ウイルスの性質</p> <p>4) 真菌の性質</p> <p>2. 感染とその防御</p> <p>1) 感染と感染症</p> <p>2) 感染に対する生体防御機構</p> <p>3) 滅菌と消毒</p> <p>4) 感染症の検査と診断</p> <p>5) 感染症の治療</p> <p>6) 感染症の現状と対策</p> <p>7) おもな病原微生物</p> <p>8) 病原細菌と細菌感染症</p> <p>9) 病原ウイルスとウイルス感染症</p> <p>10) 病原真菌と真菌感染症</p>						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	疾病のなりたちと回復の促進 [4] 微生物学 (医学書院)						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	薬理学 1	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	済生会職員
目標	薬物療法について学び、薬物の作用機序、特徴、副作用、管理を理解する。						
DP との関連	<Ⅱ.良い人間関係を形成する力> 心身の状態をセルフマネジメントできる <Ⅲ.看護を実践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	1. 薬理学を学ぶにあたって 1) 薬物治療と看護 2) 薬理学とはなにか 2. 薬理学の基礎知識 1) 薬が作用するしくみ（薬力学） 2) 薬の体内動態（薬物動態学） 3) 薬物相互作用 4) 薬効の個人差に影響する因子 5) 薬物使用の有益性と危険性 6) 薬と法律 7) 物質としての薬物の分類						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	疾病のなりたちと回復の促進 [3] 薬理学（医学書院）						

\*進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	薬理学 2	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	済生会職員
目標	臨床における薬物治療の基礎を理解する。						
DP との関連	<II.良い人間関係を形成する力> 心身の状態をセルフマネジメントできる <III.看護を実践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	1. 抗感染症薬 2. 抗がん薬 3. 免疫治療薬 4. 抗アレルギー薬・抗炎症薬 5. 中枢神経系に作用する薬物 6. 循環器系に作用する薬物 7. 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 8. 物質代謝に作用する薬物 9. 皮膚科用薬・眼科用薬 10. 救急の際に使用される薬物 11. 漢方薬 12. 消毒薬 13. 輸液製剤・輸血剤 14. 看護業務に必要な薬の知識						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	疾病のなりたちと回復の促進 [3] 薬理学 (医学書院)						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	栄養学	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	済生会職員
目標	栄養学の基礎的知識、栄養素の代謝・消化・吸収および臨床栄養、実践的な栄養ケア、マネジメントを理解する。						
DPとの関連	<II.良い人間関係を形成する力> 心身の状態をセルフマネジメントできる <III.看護を実践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	1. 人間栄養学と看護 2. 栄養素の種類とはたらき 3. 食物の消化と栄養素の吸収・代謝 4. 体内のエネルギーバランス 5. 食品と食事 6. 栄養ケア・マネジメント 7. ライフステージと栄養 8. 臨床栄養 1) チームで取り組む栄養管理 2) 病院食 3) 栄養補給法 4) 疾患・症状別食事療法 5) 病期別の栄養管理 6) 疾患・症状別食事療法 7) 対象者別の栄養管理 8) 疾患・症状別食事療法 9) 対象者別の栄養管理						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100点						
テキスト 参考文献	人体の構造と機能 [3] 栄養学 (医学書院)						

\*進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	関係法規	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	済生会職員
目標	人々の健康生活を守るために必要な看護関係法令を理解する。						
DPとの関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる <Ⅳ.専門職業人として成長・創造・探求する力> 専門職業人としての責務を自覚し、職業倫理に則って行動できる						
授業計画	1. 法の概念 2. 衛生法 3. 厚生労働行政のしくみ 4. 看護法 5. 医事法 6. 保健衛生法 7. 薬務法 8. 社会保険法 9. 福祉法 10. 労働法と社会基盤 11. 環境法						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100点						
テキスト 参考文献	健康支援と社会保障制度 [4] 看護関係法令 (医学書院)						

\*進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	看護学概論	単 位 数	1	時 間 数	20	講 師	専任教員（看護師）
目標	看護の概念、看護の対象および目的、看護の機能と役割を理解する。						
DP との関連	<p>&lt; I. 済生の力 &gt;</p> <p>生命と人生を尊び、他者への思いやりや寄り添う気持ちをもつことができる</p> <p>&lt; III. 看護を実践する力 &gt;</p> <p>対象である人間を生活者として捉えることができる</p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p> <p>&lt; IV. 専門職業人として成長・創造・探求する力 &gt;</p> <p>専門職業人としての責務を自覚し、職業倫理に則って行動できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護のイメージ</li> <li>2. 看護の概念</li> <li>3. 看護の変遷・歴史</li> <li>4. 保健師助産師看護師法</li> <li>5. 看護職の養成制度</li> <li>6. 健康とは</li> <li>7. 看護の対象の理解</li> <li>8. 看護サービス提供のしくみ</li> <li>9. 看護における倫理</li> <li>10. 看護理論</li> </ol>						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 80 点 グループワーク・課題 20 点）						
テキスト 参考文献	<p>基礎看護学 [1] 看護学概論（医学書院）</p> <p>健康支援と社会保障制度 [4] 看護関係法令（医学書院）</p>						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	援助技術 1	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師）
目標	看護における技術の概念と看護援助を提供する際に共通する技術を修得する。						
DP との関連	<Ⅱ.良い人間関係を形成する力> 自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる <Ⅲ.看護を実践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	1. 看護技術を学ぶにあたって 2. 感染防止の技術 1) 感染とその予防の基礎知識 2) 医療施設における感染管理 3. 安全確保の技術 1) 安全確保の基礎知識						
授業の進め方	講義 演習 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 80 点 実技試験 20 点）						
テキスト 参考文献	基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ（医学書院） 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ（医学書院）						

\*進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	援助技術 2	単位数	1	時間数	30	講師	専任教員（看護師）
目標	看護におけるコミュニケーションの意義を理解し、効果的なコミュニケーションのための知識・技術、フィジカルアセスメントに関する基礎的な知識と技術を修得する。						
DP との関連	<p>&lt; II.良い人間関係を形成する力&gt;</p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p>異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p>コミュニケーション能力を身につけ他者と協同し、互いに成長し合える関係が築ける</p> <p>&lt; III.看護を実践する力&gt;</p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーション</li> <li>2. ヘルスアセスメント</li> <li>3. フィジカルアセスメントに必要な技術</li> <li>4. 系統別フィジカルアセスメント</li> </ol>						
授業の進め方	講義 演習 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 80 点 実技試験 20 点）						
テキスト 参考文献	基礎看護学 [2] 基礎看護技術 I（医学書院）						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	援助技術 3	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師）
目標	1. 環境の意義を学び、病床環境を整える援助技術を習得する 2. 活動と睡眠・休息の意義を学び、活動と睡眠・休息を促す援助方法を習得する 苦痛の緩和・安楽確保の意義を学び苦痛の緩和や精神的安寧を目的とする技術を習得する						
DP との関連	<Ⅲ.看護を実践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	1. 環境調整技術 2. 基本的活動の援助 3. 体位変換 4. ベッドメイキング 5. 臥床患者のリネン交換 6. 苦痛の緩和・安楽確保の技術 7. 安楽体位保持（ポジショニング） 8. 車椅子移乗 9. 睡眠・休息の援助						
授業の進め方	講義 演習 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 80 点 実技試験 20 点）						
テキスト 参考文献	基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ（医学書院）						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	援助技術4	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師）
目標	生活における清潔維持、生活における衣服の意義を身体・精神・社会的に理解し、対象者の清潔と衣生活に関するアセスメントの方法、清潔援助の方法や衣服を整えるための援助の方法について技術を修得する。						
DPとの関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 清潔・衣生活援助技術</li> <li>2. 病床での衣生活の援助</li> <li>3. 清潔・衣生活援助の実際</li> </ol>						
授業の進め方	講義 演習 グループワーク						
評価方法	総合評価 100点満点（筆記試験 70点 実技試験 30点）						
テキスト 参考文献	基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ（医学書院）						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	援助技術 5	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	<p>生活における栄養補給と食事の意義について理解し、対象者のアセスメントの方法と対象者の尊厳の尊重、自立促進に配慮しながら状態に応じた援助の方法について技術を修得する。</p> <p>生活における排泄の意義と排泄の生理について理解し、排泄機能と排泄動作の観点からアセスメントの方法および対象者の状態に応じて尊重し、自立の促進に配慮しながら自然排泄の援助方法や排泄機能障害時など技術を修得する。</p>						
DP との関連	<p>&lt;Ⅲ.看護を实践する力&gt;</p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 食事援助の基礎知識</li> <li>2. 排泄の援助技術</li> </ol>						
授業の進め方	講義 演習 グループワーク						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ（医学書院）						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	援助技術 6	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	診療時の援助過程および看護の役割について理解し、診療時のアセスメントの視点及び援助方法について学ぶ。薬物療法におけるアセスメントの視点、看護の役割を理解し各与薬方法に関する知識と技術を修得する。創傷管理の目的、創傷管理を必要とする対象者を理解し、看護の役割及び創傷管理を修得する。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	1. 創傷管理技術 1) 創傷 2) 創傷治癒のための環境づくり 3) 創傷処置 2. 与薬の技術 1) 与薬の基礎知識 2) 経口与薬・口腔内与薬 3) 吸入 4) 点眼 5) 点鼻 6) 経皮的与薬 7) 直腸内与薬 8) 注射の基礎知識 ・皮下注射 ・皮内注射 ・筋肉内注射 ・静脈内注射(中心静脈含む) ・点滴静脈内注射の管理						
授業の進め方	講義 演習						
評価方法	筆記試験 100 点満点						
テキスト 参考文献	基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ (医学書院) 看護の統合と実践 [2] 医療安全 (医学書院)						

\*進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	援助技術 7	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師）
目標	呼吸・循環を整える必要がある対象者について理解し、呼吸・循環を整えるための方法を修得する。 検査・処置の意義および援助の過程について理解し、検査・処置時のアセスメントの視点および援助方法を修得する。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 診察・検査・処置における技術</li> <li>2. 症状・生体機能管理技術</li> <li>3. 救急救命処置</li> <li>4. 呼吸・循環を整える技術</li> <li>5. 輸血の管理</li> <li>6. 放射線被ばく防止対策の実際</li> <li>7. 体温管理の実際</li> </ol>						
授業の進め方	講義 演習 グループワーク						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ（医学書院）						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	臨床看護総論	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師）
目標	様々なライフサイクル、健康段階、症状や治療を受ける対象者と家族の理解の仕方および看護援助の必要性と援助方法について科学的根拠を基に倫理的配慮のもと実践する重要性を学ぶ。						
DPとの関連	<II.良い人間関係を形成する力> 異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる <III.看護を実践する力> 対象である人間を生活者として捉えることができる						
授業計画	1. 健康上のニーズを持つ対象者と家族への看護 2. 家族の機能からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ 3. 健康状態の経過に基づく看護 4. 主要な症状を示す対象者への看護 5. 治療・処置を受ける対象者への看護						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100点満点（筆記試験 80点 課題 20点）						
テキスト 参考文献	基礎看護学 [4] 臨床看護総論						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	看護過程	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師）
目標	看護が科学的根拠および倫理的配慮に基づき実践されるための基盤となる看護過程の概念及び看護理論との関連を理解し、看護過程の5段階について内容と方法を学び、事例を活用して展開の技術を修得し看護過程展開の重要性を学ぶ。						
DP との関連	<p>&lt;Ⅲ.看護を実践する力&gt;</p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p> <p>最適な看護実践の提供を目指し、振り返り、評価することができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護理論と看護過程</li> <li>2. 看護過程とは</li> <li>3. 看護過程を展開する際に基盤となる考え方</li> <li>4. アセスメントの枠組み</li> <li>5. 評価の方法</li> </ol>						
授業の進め方	講義 演習						
評価方法	総合評価 100 点満点（事例展開 70 点 小テスト 30 点）						
テキスト 参考文献	<p>基礎看護学 [2] 基礎看護技術 I（医学書院）</p> <p>看護診断ハンドブック第 12 版（医学書院）</p> <p>ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断（ヌーヴェルヒロカワ）</p>						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

## 2026年度 シラバス

科目名	地域とくらし	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	済生会職員
目標	地域で生活する人々とその家族を理解し、暮らしが健康に与える影響を理解する。また、地域における看護の機能と役割を理解する。						
DPとの関連	<p>&lt;II.良い人間関係を形成する力&gt; 異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p>&lt;III.看護を実践する力&gt; 対象である人間を生活者として捉えることができる</p> <p>&lt;IV.専門職業人として成長・創造・探求する力&gt; 社会・環境問題に関心を持ち、地域社会に貢献できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人々のくらしと地域・在宅看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人々のくらしの理解</li> </ol> </li> <li>2. 地域・在宅看護の役割 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域・在宅看護の実践の場</li> <li>2) 地域・在宅看護の実践</li> <li>3) 地域・在宅看護に求められる役割</li> </ol> </li> <li>3. くらしを理解する</li> <li>4. くらしの基盤としての地域の理解 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) くらしと地域</li> <li>2) くらしと地域を理解するための考え方</li> <li>3) 地域包括ケアシステムと地域共生社会</li> </ol> </li> </ol>						
授業の進め方	講義 演習 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点 (レポート他)						
テキスト 参考文献	地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤 (医学書院)						

\*進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	在宅看護概論	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	専任教員（看護師）
目標	在宅看護における対象と基盤になる概念、安全と健康危機管理の基本を理解する。						
DP との関連	<p>&lt; I. 済生の力 &gt; 生命と人生を尊び、他者への思いやりや寄り添う気持ちをもつことができる</p> <p>&lt; II. 良い人間関係を形成する力 &gt; 異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p>&lt; III. 看護を実践する力 &gt; 対象である人間を生活者として捉えることができる 保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p> <p>&lt; IV. 専門職業人として成長・創造・探求する力 &gt; 専門職業人としての責務を自覚し、職業倫理に則って行動できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 暮らしの基盤としての地域の理解</li> <li>2. 社会地域・在宅看護の対象</li> <li>3. 地域・在宅看護におけるライフステージに応じた看護</li> <li>4. 地域での暮らしにおけるリスクの理解</li> <li>5. 地域・在宅看護における対象者の安全を守る看護</li> <li>6. 地域・在宅看護にかかわる制度とその活用</li> </ol>						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 80 点 課題 20 点）						
テキスト 参考文献	<p>地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤（医学書院）</p> <p>地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践（医学書院）</p>						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	成人看護学概論	単位数	1	時間数	20	講師	専任教員（看護師）
目標	成人看護の対象を健康支援の視点を持って多面的に理解することができる 成人看護の特徴および基盤となる看護理論、成人対象者への看護アプローチの基本と看護技術について修得することができる						
DP との関連	<p>&lt; I. 済生の力 &gt;</p> <p>生命と人生を尊び、他者への思いやりや寄り添う気持ちをもつことができる</p> <p>&lt; II. 良い人間関係を形成する力 &gt;</p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p>&lt; III. 看護を实践する力 &gt;</p> <p>対象である人間を生活者として捉えることができる</p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p> <p>&lt; IV. 専門職業人として成長・創造・探求する力 &gt;</p> <p>専門職業人としての責務を自覚し、職業倫理に則って行動できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成人とは</li> <li>2. ヘルスプロモーションと看護</li> <li>3. 健康を守るためのシステム</li> <li>4. 生活と健康</li> <li>5. 健康を脅かす要因と看護</li> <li>6. 成人への看護アプローチの基本</li> </ol>						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 80 点 課題 20 点）						
テキスト 参考文献	成人看護学 [1] 成人看護学総論（医学書院） 国民衛生の動向（厚生労働統計協会）						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	老年看護学概論	単 位 数	1	時 間 数	20	講 師	専任教員（看護師）
目標	<p>老年期の1人ひとりの人生を念頭におきながら、健康レベルの多様な水準と場の広がりに対応できる能力を養う。</p> <p>老年期の特徴を理解し、老年期における看護の機能と役割が理解できる。</p> <p>老年期の保健・医療・福祉の動向および社会システムを理解する。</p>						
DPとの関連	<p>&lt; I. 済生の力 &gt;</p> <p>生命と人生を尊び、他者への思いやりや寄り添う気持ちをもつことができる</p> <p>&lt; III. 看護を実践する力 &gt;</p> <p>対象である人間を生活者として捉えることができる</p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p> <p>&lt; IV. 専門職業人として成長・創造・探求する力 &gt;</p> <p>専門職業人としての責務を自覚し、職業倫理に則って行動できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老いるということ、老いを生きるということ</li> <li>2. 超高齢社会と社会保障</li> <li>3. 高齢社会における保健医療福祉の動向</li> <li>4. 高齢者を取り巻く諸問題</li> <li>5. 老年看護のなりたち</li> </ol>						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100点満点（筆記試験 80点 課題 20点）						
テキスト 参考文献	老年看護学（医学書院）						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	小児看護学概論	単位数	1	時間数	20	講師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	子どもを発達していく存在として捉え、子どもが社会の中で健やかに成長・発達を遂げる権利を理解し子どもと家族の健康な生活への支援に求められる知識を学ぶ。また、変化する社会の中で子どもと家族を巡る問題から看護の役割を学ぶ。						
DPとの関連	<p>&lt; I. 済生の力 &gt;</p> <p>生命と人生を尊び、他者への思いやりや寄り添う気持ちをもつことができる</p> <p>&lt; II. 良い人間関係を形成する力 &gt;</p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p>&lt; III. 看護を実践する力 &gt;</p> <p>対象である人間を生活者として捉えることができる</p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p> <p>&lt; IV. 専門職業人として成長・創造・探求する力 &gt;</p> <p>専門職業人としての責務を自覚し、職業倫理に則って行動できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもと家族を巡る諸統計と課題</li> <li>2. 子どもの成長、発達</li> <li>3. 子どもの栄養</li> <li>4. 各発達段階（新生児、乳児期、幼児・学童期）での形態的・身体生理の特徴や各機能の発達</li> <li>5. 家族の特徴とアセスメント</li> <li>6. 子どもと家族を取り巻く社会保障</li> <li>7. 子どもの特徴と看護の役割</li> <li>8. 小児医療、看護の変遷</li> <li>9. 小児看護における倫理</li> <li>10. 小児看護の課題と展望</li> <li>11. 各発達段階（新生児、乳児期、幼児・学童期・思春期）での形態的・身体生理の特徴や各機能の発達を含めた養育および看護</li> </ol>						
授業の進め方	講義 演習 グループワーク						
評価方法	筆記試験 100点						
テキスト 参考文献	小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論（医学書院）						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

## 2026年度 シラバス

科目名	母性看護学概論	単位数	1	時間数	20	講師	専任教員（看護師）
目標	母性看護とその対象理解の基盤となる概念、リプロダクティブヘルスに関する概念について理解し、母性看護の課題や役割と機能を学ぶ。						
DPとの関連	<p>&lt; I. 済生の力 &gt;</p> <p>生命と人生を尊び、他者への思いやりや寄り添う気持ちをもつことができる</p> <p>&lt; II. 良い人間関係を形成する力 &gt;</p> <p>異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p>&lt; III. 看護を实践する力 &gt;</p> <p>対象である人間を生活者として捉えることができる</p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p> <p>&lt; IV. 専門職業人として成長・創造・探求する力 &gt;</p> <p>専門職業人としての責務を自覚し、職業倫理に則って行動できる</p> <p>国内外の社会の変化に関心をもち、対応しようとする姿勢を持つことができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状</li> <li>2. 母性看護の対象理解 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化</li> <li>2) 生殖器の形態・機能</li> <li>3) 妊娠と胎児の性分化</li> </ol> </li> <li>3. 母性の発達・成熟・継承</li> <li>4. 女性のライフサイクルと家族</li> <li>5. 母性看護の基盤となる概念</li> <li>6. 母性看護における倫理</li> <li>7. リプロダクティブケア <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 受胎調節と家族計画</li> <li>2) 性感染症（STD/STI）と予防</li> <li>3) HIV 感染女性に対する看護</li> <li>4) 人口妊娠中絶と看護</li> <li>5) 喫煙女性の健康と看護</li> <li>6) 性暴力（DV）を受けた女性に対する看護</li> <li>7) 妊娠期～産褥早期の児童虐待と看護</li> <li>8) 国際化社会と看護</li> <li>9) 飲酒と女性の健康と看護</li> <li>10) 災害時における女性・妊婦・産婦・</li> <li>11) 新生児への支援</li> </ol> </li> </ol>						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 70 点 課題 20 点グループワーク 10 点）						
テキスト 参考文献	母性看護学 [1] 母性看護学概論（医学書院） 国民衛生の動向						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります